

## 提言「ITS、セカンドステージへ」のポイント（2004年8月）

### ITSの進展

- (1) カーナビは約1500万台となり、5台に1台装備
- (2) VICSは900万台を超え、カーナビの標準機能
- (3) ETCは300万台を超え、利用率は20%
- (4) ASVの商品化が進み、世界最先端

### セカンドステージに入ったITS

- (1) カーナビによる高齢者運転支援
- (2) ETCにより料金所渋滞が半減（首都高川口） ETC標準装備
- (3) スマートICの具体化 高速道路IC倍増
- (4) 先端、流行から社会的課題を解決する存在へ

### 国家戦略として一層の加速

- (1) 官民あげての取り組み
- (2) 本年10月開催のITS名古屋会議で世界に発信

### 2007年に本格的なITS社会を実現

- (1) 2007年に、多様なサービスを一つのITS車載器で利用できる車内環境を実現。
- (2) ITS車載器を活用して、以下のサービスを開始。

#### あらゆるゲートのスムーズな通過

駐車場をはじめ、ETC以外でのキャッシュレス決済等によるスムーズな通過を実現

#### 場所やニーズに応じた地域ガイド

周辺の道路情報や地域・観光情報を集約配信し、利便性向上・地域活性化

#### タイムリーな走行支援情報の提供

走行中に事故多発地点、詳細な工事規制、渋滞末尾等を即時的に提供し、安全・安心を向上

- (3) 歩行者の携帯端末や家庭のPCなどとの連携も進め、車内のみならず常時シームレスな情報環境の構築を推進。

あわせて、路車協調による安全確保のための警告や車両制御についても研究・開発を進め、早期にサービスを開始。

- (4) 目標達成のため、関係者が適切な役割分担のもとに、
  - ・05年 官民共同研究、規格・仕様の策定
  - ・06年 官民により、インフラ整備・ITS車載器製造を推進
  - ・07年 サービス開始